

対馬市告示第3号

令和6年第1回対馬市議会臨時会を次のとおり招集する

令和6年1月19日

対馬市長 比田勝尚喜

1 期 日 令和6年1月26日（金）

2 場 所 対馬市議会議場

○開会日に応招した議員

糸瀬 雅之君	陶山莊太郎君
神宮 保夫君	坂本 充弘君
伊原 徹君	入江 有紀君
船越 洋一君	脇本 啓喜君
小島 徳重君	黒田 昭雄君
波田 政和君	小宮 教義君
上野洋次郎君	大浦 孝司君
作元 義文君	春田 新一君
初村 久藏君	

○開会日に応招しなかった議員

島居 真吾君	小田 昭人君
--------	--------

令和6年 第1回 対馬市議会臨時会 会議録(第1日)

令和6年1月26日(金曜日)

議事日程(第1号)

令和6年1月26日 午前10時00分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 令和5年度対馬市一般会計補正予算(第6号)

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 令和5年度対馬市一般会計補正予算(第6号)

出席議員(16名)

1番 糸瀬 雅之君	2番 陶山莊太郎君
3番 神宮 保夫君	5番 坂本 充弘君
6番 伊原 徹君	7番 入江 有紀君
8番 船越 洋一君	9番 脇本 啓喜君
10番 小島 徳重君	11番 黒田 昭雄君
13番 波田 政和君	14番 小宮 教義君
15番 上野洋次郎君	16番 大浦 孝司君
17番 作元 義文君	18番 春田 新一君
19番 初村 久藏君	

欠席議員(2名)

4番 島居 真吾君	12番 小田 昭人君
-----------	------------

欠 員(なし)

事務局出席職員職氏名

局長	國分 幸和君	次長	平間 博文君
課長補佐	糸瀬 博隆君	係長	犬束 興樹君

説明のため出席した者の職氏名

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君
教育長	中島 清志君
総務部長	木寺 裕也君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	一宮 努君
しまづくり推進部長	伊賀 敏治君
観光交流商工部長	阿比留忠明君
市民生活部長	村井 英哉君
福祉部長	田中 光幸君
保健部長	桐谷 和孝君
農林水産部長	黒岩 慶有君
建設部長	内山 歩君
水道局長	舍利倉政司君
教育部長	扇 博祝君
中対馬振興部長	原田 武茂君
上対馬振興部長	原田 勝彦君
美津島行政サービスセンター所長	藤田 浩徳君
峰行政サービスセンター所長	居村 雅昭君
上県行政サービスセンター所長	田村 竜一君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	勝見 一成君
監査委員事務局長	志賀 慶二君
農業委員会事務局長	主藤 公康君

午前10時00分開会

○議長（初村 久藏君） おはようございます。

開会前に申し上げます。本年1月1日に発生いたしました能登半島地震で被災されました皆様方に対しまして、心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地における早期の復旧・復興を

お祈り申し上げます。

犠牲になられた方々に追悼の意を表し、心から御冥福をお祈りするため、黙禱を捧げたいと思います。

皆様、御起立をお願いします。

〔全員起立〕

○議長（初村 久藏君） 黙禱。

〔黙禱〕

○議長（初村 久藏君） お直りください。御着席ください。

〔全員着席〕

○議長（初村 久藏君） 報告します。小田昭人君及び島居真吾君から欠席の届出があつております。

もう一点報告いたします。地方自治法第180条第2項の規定に基づき、議会の議決により指定されております2割以内の工事請負変更契約の締結、1件の専決処分の報告があつております。タブレットに掲載しておりますので、御確認ください。

ただいまから、令和6年第1回対馬市議会臨時会を開会します。

議場の換気のため、出入口を開放して会議を運営することとします。

定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

市長から挨拶の申出があつておりますので、これを受けます。市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） おはようございます。

臨時会の開会に当たり、一言、御挨拶申し上げます。

本日ここに、令和6年第1回対馬市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様には御健勝にて御出席賜り、衷心より御礼申し上げます。

初めに、去る1月1日に発生しました能登半島地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。本市においても、今回の地震では震源地から約750キロメートル離れているにもかかわらず、津波注意報が発令され、比田勝港において30センチメートルの津波が確認されております。

能登半島地域周辺では、現在も行方不明者の搜索や自宅等を失った方々の避難生活が続いており、また水道、電気、道路などのライフラインが寸断されたことによって不自由な生活を強いられている状況であり、心痛む思いであります。

対馬市としては、国、長崎県などと連携を図りながら、職員派遣や支援物資の供給など、様々な支援ニーズがあると思いますので、対馬市として支援要請に対する対応を行ってまいりたいと思います。

また、1月9日より市内6か所の市役所庁舎に義援金箱を設置し、市民の皆様へ義援金を募っております。市民皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、能登半島地域の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

それでは、本臨時会についてであります。物価高騰対応重点支援事業として、社会福祉施設等物価高騰対策支援事業などを盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算案件1件について、御審議をお願いするものでございます。

今回お願いいたします一般会計補正予算案件につきましては、総務部長から全般の提案説明の後、併せてお配りをしております参考資料により、事業ごとの内容について担当部長から自席にて概要説明を行わせますので、慎重に御審議の上、御決定を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上、開会に当たっての挨拶といたします。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（初村 久藏君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定によって、小島徳重君及び黒田昭雄君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（初村 久藏君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、配付しております会期日程案のとおり、本日1日限りとしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本臨時会の会期は、本日1日限りと決定しました。

日程第3. 議案第1号

○議長（初村 久藏君） 日程第3、議案第1号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第6号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） ただいま議題となりました議案第1号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第6号）について、その提案理由と内容を御説明申し上げます。

今回の補正は、国がエネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を通じた地方創生を図るために創設した物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業を計上し

たものでございます。

予算書3ページをお願いいたします。

第1条第1項、歳入歳出予算の補正でございますが、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第6号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4,289万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ343億8,727万1,000円とするものでございます。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページにかけての「第1表 歳入歳出予算補正」によるとするものでございます。

次に、歳入歳出補正予算の内容について御説明いたします。

8ページをお願いいたします。

まず、歳入でございますが、15款・国庫支出金、2項・国庫補助金は、民生費国庫補助金2,423万円、農林水産業費国庫補助金1億1,643万3,000円、教育費国庫補助金223万1,000円の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を追加しております。

続きまして、歳出について御説明いたします。

10ページをお願いいたします。

3款・民生費、1項・社会福祉費に市内障害サービス事業所、介護サービス事業所等のエネルギー・食料品等価格高騰対策としまして、社会福祉施設等物価高騰対策支援事業2,253万円を追加しております。2項・児童福祉費に市内児童福祉施設のエネルギー・食料品等価格高騰対策としまして、児童福祉施設物価高騰対策支援事業170万円を追加しております。

6款・農林水産業費、1項・農業費は、繁殖牛飼育農家に対するエネルギー・食料品等価格高騰対策としまして、繁殖農家経営継続支援事業1,570万円を追加しております。3項・水産業費は、年間の餌料経費が50万円を超える漁業者に対するエネルギー・食料品等価格高騰対策としまして、水産業物価高騰対策事業継続支援事業1億73万3,000円を追加しております。

10款・教育費、6項・保健体育費は、小・中学校の児童・生徒に対するエネルギー・食料品等価格高騰対策としまして、これまでどおりの栄養バランスと量を保った学校給食を維持するため、学校給食費支援事業223万1,000円を追加しております。

なお、今回の補正予算（第6号）に係る事業の詳細につきましては、この後、別途参考資料により各担当部長が説明いたします。

以上、簡単ではございますが、提案理由の説明を終わらせていただきます。よろしく御審議の上、御決定賜りますよう、お願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 福祉部長、田中光幸君。

○福祉部長（田中 光幸君） 福祉部に係る補正予算について御説明申し上げます。参考資料は、

2ページをお願いいたします。

上段の社会福祉施設等物価高騰対策支援事業及び下段の児童福祉施設物価高騰対策支援事業は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市内の社会福祉施設・児童福祉施設に対して負担軽減を図り、安定的なサービスを提供できるよう支援金を交付するものでございます。

初めに、上段の社会福祉施設等物価高騰対策支援事業ですが、障害サービス事業所等を入所系、通所系及び訪問系に区分し、入所系は光熱水費等高騰分及び食材費高騰分として、基本額に各事業所の定員数を乗じた額を、通所系は光熱水費等高騰分として1事業所当たり基本額を定め、併せて食材費高騰分として基本額に各事業所の定員数を乗じた額を、訪問系は光熱水費等高騰分として1事業所当たり基本額を支援するものでございます。

なお、基本額は令和5年度に長崎県が実施しました物価高騰緊急支援事業の単価で算出しております。福祉課において障害サービス事業所分として253万8,000円を計上しております。

続きまして、下段の児童福祉施設物価高騰対策支援事業ですが、市内の民間児童福祉施設を対象に事業形態ごとに基本額を定め、定額により支援するものでございます。10施設分170万円を計上しております。

以上で、福祉部に係る説明を終わります。

○議長（初村 久藏君） 保健部長、桐谷和孝君。

○保健部長（桐谷 和孝君） 保健部に係る補正予算について御説明申し上げます。補正予算参考資料、2ページをお願いいたします。

上段の社会福祉施設等物価高騰対策支援事業でございます。本事業は、社会福祉施設等のうち、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市内介護サービス事業所が、安定的なサービスを提供できるよう支援するものでございます。

介護サービス事業所等を障害サービス事業所等と同様に入所系、通所系及び訪問系に区分し、助成額におきましても同様に算出、また基本額も同様に県の単価を参考に算出しております。保健部長寿介護課では、市内介護サービス事業所へ1,999万2,000円を計上しております。

以上、簡単ではございますが、保健部に係る説明を終わります。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） 続きまして、繁殖農家経営継続支援事業について御説明申し上げます。

この事業の目的は、飼料費の価格高騰の影響によりまして、令和5年の長崎県の子牛の平均価格が全国平均を大きく下回るなど、畜産農家の経営が厳しい状態にあることから、繁殖牛の飼養頭数に応じ支援金を給付し、畜産経営の継続と安定化を図るものでございます。

助成の内容は、国が示しております保証基準価格から長崎県の平均額と、既に発動されており

ます生産者補給金を差し引き、本年1月1日現在で飼養している繁殖牛1頭当たり5万4,000円を支給しようとするものでございます。

そのほか、事務取扱手数料として、JA対馬に1件当たり1,000円を交付する予定としております。

次に、水産業物価高騰対策事業継続支援事業について御説明申し上げます。

漁業者の餌料価格におきましては、近年高値で推移しており、令和4年4月1日から直近の令和5年12月1日までに、サバで約140%、イカで約170%もの価格が高騰し、漁業経営の維持に支障を来していることから、餌料購入経費の一部を助成し、漁業経営の安定と事業継続を図ろうとするものでございます。

助成の内容としましては、漁協に所属する組合員のうち、令和5年4月1日から令和5年12月31日までに、餌料購入経費が50万円を超える漁業者を対象としまして、1事業者150万円を上限に、餌料種類別の価格上昇率に応じて、一定割合の助成を行うものでございます。

そのほか、事務取扱手数料として、各漁協に対し1件当たり1,000円を交付する予定としております。

以上でございます。

○議長（初村 久蔵君） 教育部長、扇博祝君。

○教育部長（扇 博祝君） 続きまして、教育委員会に係る補正予算につきまして、その概要を御説明申し上げます。参考資料の3ページを御覧願います。

3項目めの学校給食費支援事業でございます。本事業につきましても、エネルギー・食料品価格等の高騰に対する支援事業となります。

本事業の目的でございますが、学校給食について、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食を維持できるよう、食材費に係る高騰分の一部を助成することで、子育て世帯の負担軽減を図ることを目的としております。

助成額は、学校給食食材費について1食当たり1日20円の3か月分としております。小学校分で1,310人の51日分、144万3,096円、中学校分で715人の51日分、78万7,644円、計の223万740円となります。

なお、助成額1食当たり20円につきましては、給食費1食分の平均額が約200円となりますので、この平均額の10%を助成額としております。

また、この10%につきましては、国が公表しております消費者物価指数の動向に係る資料などを参考として設定しております。

以上で、教育委員会に係る補正予算の概要説明を終わります。

○議長（初村 久藏君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありますか。9番、脇本啓喜君。

○議員（9番 脇本 啓喜君） 今回の補正については、国の方針ということもあって、妥当な補正が組まれていると思います。そこは評価します。

ところで、やはり今こういう福祉施設等、一番困っているのはその人材の確保だと思うんですね。今回、こういう形になりましたが、やっぱり人材を確保するためには、それなりの報酬、給与というのを確保していく必要があると思うんですが、今後、エッセンシャルワーカーと言われている人たち、例えば介護職とか保育等、こういう方々に国も一時やっていたような形で、そういうエッセンシャルワーカーに限って、市独自に給与を上乗せするとか、そういうことは考えられないでしょうか。

まず、その福祉施設等も、福祉施設自体が不足しているというよりも、そこに働く従業員の方々が不足していて、十分に満室にできないということもあると思うんですね。そういうことであれば、市民からの理解も受けやすいと思うんですが、そのあたり市長、どういうふうに考えていらっしゃるのか、答弁があればお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 大変ありがたい御指摘だというふうには、私も考えております。

ただし、今現在この社会福祉施設等ばかりでなく、他の産業においても、そういった人材不足等が見受けられるということでございますので、この件につきましては、やはり広く一回見渡しまして、まず本当に必要なところからできる限りの支援は行えるように、ちょっと検討はしてまいりたいというふうに思います。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 9番、脇本啓喜君。

○議員（9番 脇本 啓喜君） 福祉施設といえども民間施設ということで、他の業界とのバランスもということでの答弁だったかと思うんですが、やはりしっかりこれから女性進出とか、そういうことも考えていきますと、そういうところがしっかりしていないと、エッセンシャルワーカーのところですね、高齢者をお預けできるところとか、それから子どもを預けられるところとか、そういうところの環境がしっかりしていないと、女性の活躍もなかなか進まないというふうに思われます。

この点については、他の産業よりも市民の理解も得やすいかと思います。そのあたり検討することですので、しっかり市民の意見等も聞きながら、ぜひ検討を、今後3期目に向かって頑張られると思いますので、検討をお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（初村 久藏君） ほかに質疑はありませんか。1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 今回、この国の補正によって、1億4,289万円計上されて、各分野においてそれぞれ助成金が組まれています。

その中でまずお尋ねしたいのが、繁殖農家経営継続支援事業の1,570万円の助成額の5万4,000円の根拠となります保証基準価格、そして令和5年長崎県の平均価格、最低ですね。それで肉用子牛生産者補給金、このそれぞれの金額が分かりましたらお願いします。

それともう一点が、今、対馬島内に290頭赤牛、黒牛がいますけれども、それぞれの頭数が分かりましたら、まずそこをお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

保証基準価格というのは、毎年、農林水産大臣が定める価格でございまして、令和5年は55万6,000円と定められております。それから、長崎県の平均価格ですが、これが42万円となっております。

それで、さきに交付されております生産者補給金、これが8万2,000円発動されておりますので、55万6,000円から42万円と8万2,000円を差し引き、5万4,000円ということになります。すいません、もう一回。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 頭数、黒牛と赤牛の頭数、親牛の。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） はい。繁殖雌牛の黒毛和種が137頭、褐毛和種が153頭でございます。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） はい、分かりました。

次に、水産物価格高騰対策事業継続支援事業の1億73万3,000円の分なんですけど、私、9月の一般質問の際に、アナゴ等漁業者のほうやはりこの餌の値段が高騰しているということで、一般質問をさせていただきました。そして、今回このような形で、非常に漁業関係者の方々も喜ぶんじゃないかなと思っております。

その中で、50万円以上の経費、餌を買われた方、そして今回マグロ養殖業に関しては150万円、23事業者ということで上限が分かりました。アナゴ漁につきまして、106万5,000円（平均）という形で、はえ縄漁業と平均ということで組まれています。この辺のちょっと平均というのは、餌のキロ数に対しての支払いなのか、そこら辺もう少し詳しくお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

平均というのは、漁業者1戸当たりの平均額ということでございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 漁業者というのは、このアナゴ漁業に対する40漁業者とこれ書いてありますけれども、それぞれ大体仕入れされている金額というのは、そちらが把握されているということですか。その平均ということですか。アナゴ漁に関してですけれども。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） 漁協等から聞き取りをしまして、令和5年の4月1日から令和5年の12月31日までに購入したほぼ実績見込額で、それを平均しますと1人当たり750万ということになります。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） すいません、よく分かりませんが、1人当たり750万というのは、ちょっとよく分からなかったんですけど、部長がそのように聞き取りをされているということは、水産のほう聞き取りされているということは、106万5,000円よりまだ下がる漁業者もいるということと、また少しく買われている方は、多く支払いがされるということでしょうね。分かりました。

それで、次に教育委員会のほうにお尋ねをしたいんですけども、今回この12月だったですかね、11月か、上対馬地区のほうで給食が停止されました。その中で、やはりこの給食調理場の職員の人材確保というのは、これはもう毎年喫緊の課題だと思っております。

その中で、今回この学校給食食材費、1日当たり20円3か月分、これでこの223万1,000円というのを計上されています。これは何かこの全体の1億4,289万円に対する残りを給食費に充てたんじゃないかというような気がいたします。その辺は、教育部長でもいいし、教育長でもいいですけども、その辺のこの金額なんですけれども、どのようにしてこの20円というのを決められたのか、そこを答弁お願いします。

○議長（初村 久藏君） 教育部長、扇博祝君。

○教育部長（扇 博祝君） 御質問にお答えさせていただきます。

この20円という単価が、給食の1食分の平均額が約200円となっておりまして、その10%になるんですけども、その10%というのが国のほうが示しております消費者物価指数の動向に係る資料というのがございまして、その中で生鮮食品等の前年度、同月比の比較等で約10%程度の物価高騰という数字がありましたので、一応そちらを参考にその数値を参考といたしまして、その20円という数字を出させていただいております。

○議長（初村 久藏君） 1 番、糸瀬雅之君。

○議員（1 番 糸瀬 雅之君） はい、最後ですので、この金額 2 2 3 万、これ分かりますけれども、これ今回上がってきている財源は、全て国の補助金ということですよね。今、全国の自治体が、給食の無償化、この辺をどこの自治体も取り組もうということでされております。

対馬市として、今回、市長も次の 3 月の市長選挙に出馬をされるということで、もう少し思い切った島の宝である子どもたちに対しまして、栄養、家計の負担、そこら辺も考えて少しでも子どもたちに、保護者に対してでも給食費の無償化、こういったのをやはり一般財源を活用してつくっていくというような予算を組んでいく、そのようなお考えは市長には今後あるのでしょうか。最後にそこをお尋ねいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 今この給食の無償化は、こども園、そして保育園等は、既にもう実施もしているところでございます。

小学校、中学校につきましては、今現在、県の市長会といたしましても、この給食の無償化等については、国の責任においても必要なことだということで、まず国のほうに、この給食等の無償化等はお願いもしていくということで確認はしておりますけれども、ただ、その中でも確かに財源的に余裕がある自治体なのかなと思っておりますが、独自に始められているところもあるところでございます。

対馬市といたしましては、まずここら辺は私も気持ちとしては、本当に前向きにやっていきたいという気持ちはございますけれども、ただ、その財源との調整の中でできる限りのことを今後は検討をしていくということで、教育行政のほうを進めていければいいなというふうに思っております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） ほかに質疑はありませんか。5 番、坂本充弘君。

○議員（5 番 坂本 充弘君） 糸瀬議員の質問にちょっと関連して、食材費なんですけれども、ちょっと学校給食費のことでお尋ねします。

食材費のことなんですけれども、このように食材費が高騰していたら、食材によって 1 0 % 以上、2 0 %、2 5 % というような食材もあるようなんですけれども、この設定が何か低いような気がするんですね。栄養バランスを子どもたちにとって供給するということになると、何か 2 0 0 円の設定が低いような気がするんですけど、その辺のお考えはどのようになっているのでしょうか、少し聞かせてください。

○議長（初村 久藏君） 教育部長、扇博祝君。

○教育部長（扇 博祝君） お答えさせていただきます。

この200円というのが低いというような今、御質問があったんですけども、一応この200円を設定するときに、各給食調理場のほうの献立を立てるときの栄養士の先生とかもおられますし、各給食調理場との協議とか行いながら、ある程度これぐらい助成できれば、今までのメニュー、栄養価、その辺は維持できるだろうということで、この金額を設定しておりますので、今までの給食費の負担額を上げることなく、この200円の助成があれば維持できるという判断で設定させていただいております。

○議長（初村 久藏君） 5番、坂本充弘君。

○議員（5番 坂本 充弘君） はい、分かりました。そういうふうに努力をしていただいて、また子どもたちのバランスが悪くならないように、努力をしていっていただきたいと思っております。

それからもう一点、糸瀬議員のほうからもまた言われましたけれども、給食の停滞といいますか、一時中断があってございましたけれども、この件については今、順調にいつているんでしょうか、そこを聞かせください。

○議長（初村 久藏君） 教育部長、扇博祝君。

○教育部長（扇 博祝君） 上対馬調理場の現状でございますけれども、調理員の採用状況につきましては、12月に1名の正職を採用し、1月に新たに正職を1名採用しております。調理員の定員が6名なんですけれども、今現在5名の正職を採用している状況となります。

5名のうち1名が今、育児休業中で、現場のほうには出ていないんですけれども、あとその代替えの職員さんが3名おりまして、その代替えの職員の方も出勤いただきながら、今は順調にどうか給食の提供はやっております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、委員会への付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、委員会への付託を省略することに決定しました。

これから討論、採決を行います。

議案第1号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第6号）について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

この採決は、起立によって行います。

本件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（初村 久藏君） 起立多数です。本件は、原案のとおり可決されました。

お諮りします。本会議における議決の結果、条項、字句、数字、その他において整理を要するものがある場合、その整理権を会議規則第43条の規定によって議長に委任願います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。したがって、整理権は議長に委任することに決定しました。

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日の議事日程は全て終了しました。

市長から挨拶の申出がっておりますので、これを受けます。市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 第1回対馬市議会臨時会の閉会に当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

本日は慎重に御審議いただき、補正予算案件を御決定賜りましてありがとうございました。本臨時会で議決いただきました補正予算につきましては、適正な事務処理に努め、速やかに対処してまいりたいと存じます。

今臨時会における議員皆様からいただきました貴重な御意見につきましては、市政に反映させるべく取り組んでまいりますので、今後とも御協力賜りますよう、お願い申し上げます。

次に、開会挨拶でも触れさせていただきましたが、能登半島地震に伴う職員派遣、物資供給などの災害支援に係る経費につきましては、緊急的な財政措置として予備費により対応したいと考えておりますので、議員皆様の御理解をお願いします。

最後になりますが、議員皆様をはじめ、市民皆様方の御健勝とますますの御活躍を祈念申し上げます。閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） 会議を閉じます。これをもちまして、令和6年第1回対馬市議会臨時会を閉会します。お疲れさまでした。

午前10時44分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長 初村 久藏

署名議員 小島 徳重

署名議員 黒田 昭雄